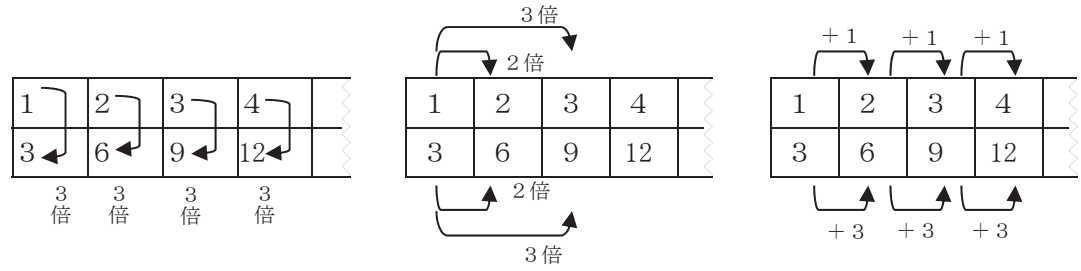


4年	□、△などを用いた式	__年 __組
13 解説		名前

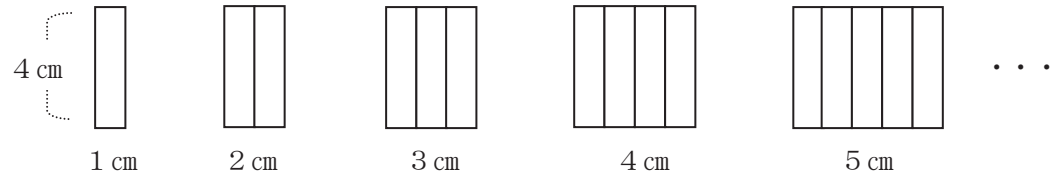
表をたてに見たり、横に見たりして、きまりを見つけよう。



たてが4 cm、横が1 cmの長方形の横の長さを 2 cm、3 cm…とのぼしたときの面積の変化を調べましょう。

①表にまとめましょう。

・図をかいて考えます。たての長さは4 cmのまま、長方形が横に1 cmずつのびていきます。



・それぞれの長方形の面積を、順に計算して表にまとめます。

表を横に見ていくと、横の長さが1 cmずつふえると、面積は4 cm²ずつふえていることがわかります。また、横の長さが2倍、3倍になると、面積も2倍、3倍になっています。これらのきまりを使うと、かんたんに表にまとめることができます。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7
面 積 (cm ²)	4	8	12	16	20	24	28

+4 +4 +4 +4 +4 +4

②横の長さを□cm、面積を△cm²として、□と△の関係を式にしましょう。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7
面 積 (cm ²)	4	8	12	16	20	24	28

・表をたてに見て、横の長さとの面積のきまりを考えます。

横の長さ × 4 = 面積 または、 4 × 横の長さ = 面積 となっているので、

□ × 4 = △ または、 4 × □ = △